

科目名	プロダンサーワークショップ2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	SORI/ANRI/MIHO BROWN			教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー
【科目の目的】									
この科目ではプロダンサーとして必要な高い表現力や理解力を身に付ける実習形式の授業を行います。HIPHOP、JAZZ、GIRLS HIPHOP、クラブ等、様々なジャンルの振付を通して表現力を高めていきます。また授業を通してオーディションやリハーサルへの臨み方やメンタリティーを学びます。 基礎的なダンス技術を修得したうえで、自己の個性を表現する事、またアンサンブルやユニゾンの中でしっかりシンクロ出来るようなダンス技術を身に付ける事を目的とします									
【科目の概要】									
この科目ではプロダンサーとして必要な高い表現力や理解力を身に付ける実習形式の授業を行います。HIPHOP、JAZZ、GIRLS HIPHOP、クラブ等、様々なジャンルの振付を通して表現力を高めていきます。また授業を通してオーディションやリハーサルへの臨み方やメンタリティーを学びます。 基礎的なダンス技術を修得したうえで、自己の個性を表現する事、またアンサンブルやユニゾンの中でしっかりシンクロ出来るようなダンス技術を身に付ける事を目的とします									
【到達目標】									
この科目ではコンサートのバックダンサーや、CM、TVなどプロダンサーとして現場で対応できる基本技術や応用力を身に付けます。ソロ演技等での自己表現力を身に付けるとともに、アンサンブルとして作品作りに有効な音楽の理解度、ダンスの正確性を高めます。創造性と確実性が両立したダンサー育成を目指します。									
【授業の注意点】									
レッスン内でもストレッチを行います但事前にウォーミングアップをして臨む事。毎回オーディションに臨むような気持ちで臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	受講態度も良くオールジャンルの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くオールジャンルの基礎的なステップをやや理解、習得している。	オールジャンルの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	オールジャンルの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くオールジャンルの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
到達目標 C	受講態度も良く振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない場合がある。	受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない。	振付を時間内に習得する事はできる。	受講態度も悪く振付を時間内に習得する事ができない。				
到達目標 D	受講態度も良くクリアな踊り、個性を出す踊り共に身につけている	受講態度も良くクリアな踊りは出来るが、個性を出す踊りも多少できる。	受講態度も良くクリアな踊りは出来る	クリアな踊りに不安があり、個性が強い踊りになる	クリアな踊り、個性を出す踊り共に出来ない。				
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる	短い時間であればフリースタイルを踊れる	フリースタイルで踊る事が出来ない				
【教科書】									

適時レジュメ・資料を配布する							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		プロダンサーワークショップ 2				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	様々なジャンルが含まれる振付	フリースタイル	1	規定課題	規定課題を制限時間内に習得		
			2	フリースタイル	規定課題に続くフリースタイルを各自考える		
			3	発表	規定課題+フリースタイルを発表		
2	様々なジャンルが含まれる振付	vogue/heel/ street jazz	1	vogue	vogueダンスの表現にいかせる振付を実践		
			2	Heel	Heelダンスの表現にいかせる振付を実践		
			3	street jazz	Street.jazzダンスの表現にいかせる振付を実践		
3	精度の向上	振付の正確性	1	規定課題	振付表現の正確性に重点を置き習得		
			2	感情表現	規定課題に感情表現を付け、正確性を維持する		
			3	発表	正確性・感情表現に重点を置き発表		
4	精度の向上	振付に合わせた緩急	1	規定課題	振付表現の緩急・強弱に重点を置き習得		
			2	感情表現	規定課題に感情表現を付け、正確性を維持する		
			3	発表	正確性・緩急・感情表現に重点を置き発表		
5	精度の向上	表現力	1	規定課題	制限時間内に課題を習得		
			2	オーディション	オーディション形式で規定課題を発表		
			3	ピックアップ	優秀者をピックアップし、全体発表		
6	様々なジャンルが含まれる振付	ジャンルごとのニュアンス	1	MIDDLE SCHOOL	規定課題を制限時間内に習得		
			2	フリースタイル	規定課題に続くフリースタイルを各自考える		
			3	発表	規定課題+フリースタイルを発表		
7	様々なジャンルが含まれる振付	ジャンルごとのニュアンス	1	GIRLS HIPHOP	規定課題を制限時間内に習得		
			2	フリースタイル	規定課題に続くフリースタイルを各自考える		
			3	発表	規定課題+フリースタイルを発表		
8	様々なジャンルが含まれる振付	ジャンルごとのニュアンス	1	オールジャンル	規定課題を制限時間内に習得		
			2	フリースタイル	規定課題に続くフリースタイルを各自考える		
			3	発表	規定課題+フリースタイルを発表		
9	精度の向上	表現方法(力強さ)	1	規定課題	振付表現の正確性に重点を置き習得		
			2	表現	規定課題の中に力強さの表現を加える		
			3	発表	正確性・感情表現に重点を置き発表		
10	精度の向上	表現方法(早い動き)	1	規定課題	振付表現の正確性に重点を置き習得		
			2	表現	規定課題の中に早く鋭い動きの表現を加える		
			3	発表	正確性・感情表現に重点を置き発表		
11	精度の向上	表現方法(激しさ)	1	規定課題	振付表現の正確性に重点を置き習得		
			2	表現	規定課題の中に激しさの表現を加える		
			3	発表	正確性・感情表現に重点を置き発表		
12	模擬オーディション	グループ発表	1	規定課題	規定課題を制限時間内に習得		
			2	反復練習	規定課題を反復練習		

			3 発表	グループオーディション形式で発表を行う		
13	模擬 オーディション	グループ発表	1 規定課題	規定課題を制限時間内に習得		
			2 構成	グループごとに構成を考える		
			3 発表	グループオーディション形式で発表を行う		
14	模擬 オーディション	個人発表	1 規定課題	規定課題を制限時間内に習得		
			2 反復練習	規定課題を反復練習		
			3 発表	個人オーディション形式で発表を行う		
15	模擬 オーディション	個人発表	1 規定課題	規定課題を制限時間内に習得		
			2 発表	個人オーディション形式で発表を行う		
			3 フィードバック	オーディションでの注意点などを理解する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						